

青少年リーダー育成研修会

新しい仲間とかけがえのない夏を過ごしませんか？
年齢も学校も違う仲間と一緒に、カヌーや野外活動、キャンプファイヤーなどのさまざまな体験ができる「青少年リーダー育成研修会」の参加者を募集します。



- 日時・内容**
- ① 6月18日(日) 午前9時～正午・「開講式・出会いのゲーム」
 - ② 6月25日(日) 午前9時30分～正午・「班別活動(バンダナ作り)」
 - ③ 7月9日(日) 午前9時～午後3時・「アウトドアスポーツ体験研修」
 - ④ 7月23日(日) 午前9時～午後3時・「卒業生企画研修」
 - ⑤ 8月6日(日) 午前9時～正午・「宿泊研修説明など」
 - ⑥ 8月17日(木)～20日(日)・「宿泊研修(野外活動・キャンプファイヤーなど)」
 - ⑦ 8月27日(日) 午前9時～午後3時・「閉講式・思い出アルバム作り」
- ※都合により日時・内容が変更となる場合があります。
- 会場** 市役所、風の子・太陽の子広場、国立妙高青少年自然の家 ほか
- 対象** 市内在住の小学5年生～高校生
- 定員** 42人(抽選)
- 費用** 8,000円(宿泊費等含む)
- 申し込み** 5月8日の午後5時までに電話またはファックス ☎22-9835で住所・氏名・性別・電話番号・学校名・学年・参加経験の有無を社会教育課へ

市民体育大会参加者募集 テニス(ミックスダブルス)

日時 5月28日(日) 午
前9時競技開始(8時30分受付開始)

会場 市民球技場

対象 市内在住・在勤・在学者、市テニス協会員

種目 ミックスダブルス

費用 1ペア500円

(ボール代)

※当日集金

申し込み 5月1日までに直接総合体育館または



平成29年度民間温水プール開放日変更

5月7日(日)に予定されていた東青梅セントラルスポーツクラブでの温水プール開放事業はお休みとなります。

ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

問い合わせ スポーツ推進課

青梅・羽村ピースメッセンジャー募集

青梅市と羽村市では共同事業として両市の中学生を原爆が投下された広島へ派遣し、戦争の悲惨さや平和の大切さを心で感じ取り、主体的に発信できる人材を育成すること

※市立中学生は各学校での募集となります。

※過去に本事業に参加した方を除きます。

応募資格 平和に関心のある方▽心身ともに健康で、協調性に富み、規律ある団体行動ができる方▽青梅市および羽村市が合同で実施する事前研修(7月7日、14日の夜、24日の午前・午後)、出発式(7月27日の夜)、事後研修(8月11日・15日の午前・午後)、派遣報告会(8月20日の午前・午後)に参加できる方(事前研修および事後研修は青梅市または羽村市で実施)▽派遣後に報告書を提出できる方



とを目的として、ピースメッセンジャー事業を今年度も実施します。

派遣期間 8月4日(金)～6日(日)の2泊3日

※滞在中は、被爆体験者の話を聞いたり、広島市の中学生とのワークショップを実施するほか、広島平和記念資料館等の見学、平和記念式典への参列等を行います。

募集対象 青梅市内在住で青梅市立中学校以外の中学校に

青梅市まるごとアート支援事業募集

市では、自主的な文化芸術活動を行う団体の事業を支援します。

補助対象事業 次の①～④のすべてに該当する事業

- ①文化芸術活動を通じた集客・交流の促進、人材育成、子どもたちが参加する文化芸術活動等、地域活性化やアートによるまちづくりに寄与すること
- ②原則として、事業が青梅市の区域内で開催され、広く市民に公開されること
- ③非営利であること
- ④政治または宗教活動とかかわりのないこと

補助内容 補助対象事業経費の2分の1以内、かつ限度額50万円

申請書類 市立美術館、社会教育課(市役所3階)で配布

※市教育委員会ホームページ(美術館のページ)からダウンロードも可

申請方法 4月30日までに必要な書類を添付して市立美術館へ持参

※月曜日は休館

その他 補助の可否は、青梅市まるごとアート支援事業選定委員会の審査により決定します。

事業説明会を開催します

申請方法、対象事業、対象経費等の詳細について説明会を開催します。応募を予定する団体の方は、ぜひご参加ください。

日時 4月23日(日) 午前10時～11時ごろ、午後2時～3時ごろ

会場 市立美術館会議室

問い合わせ 市立美術館 ☎24-1195



▲被爆体験談を聞く

募集人数 3人

費用 個人負担なし

選考方法 作文審査と面接

▼**作文**: テーマを1つ選択し、所定の原稿用紙に800字程度の作文を作成して、申込書と一緒に提出してください。(原稿用紙は、申込書と一緒に配布します)

▼**面接**: 5月14日(日) 午前(面接時間は後日連絡します)

申し込み 5月10日(消印)までに青梅市役所総合案内(市役所1階)、秘書広報課(市役所4階)、各市民センター、中央図書館で配布する募集案内をお読みの上、申込書に必要事項を記入し、写真を貼付して作文と一緒に郵送してください。

一緒に秘書広報課 聴・国際交流担当へ郵送または直接持参(土日曜日、祝日を除く午前8時30分～午後5時15分)してください。

なお、募集案内、申込書、原稿用紙は市ホームページからダウンロードできます。

問い合わせ 秘書広報課 聴・国際交流担当

この遺跡で出土した土器の中に粗製土器も多く含まれ、底部のかけらもあるなか、その裏側にある痕跡が残された特殊な物を3点取り上げてみました。

写真左側は、縄文人の指紋がついたまま焼かれた粗製土器で、底部の角に小さな割れが入り、それを補修した時に付いたまま焼かれて残ったものと推測します。

写真中央は底部に葉の跡があり、葉身部分の葉脈が残っています。

写真右側は、底部に竹や篠などを板状に細く削り、隙間無く編んだ網代

この網代痕は大変鮮明で、土器の重さや水分蒸発量、網代の素材にも関係するなか、土器を乾かすために置いた時に付いたものか、成形の際、作業台上で回転しやすいように小形の物を敷いたのか定かではありませんが、木の葉を敷くことでも同様の機能となります。

土器の底部は無文が多いため、この遺跡の土器底部には網代痕が多く、現代の私たちに、網代を使っていたことや指先を巧みに使って土器を作製していたこと、木の葉を使って作業の一工程を行っていたことなど、当時の文化の一面を土器に付けた痕跡により伝えていくように感じます。

これらの土器は郷土博物館「青梅市の文化遺産」のコーナーで展示しています。

問い合わせ 郷土博物館 ☎23-6859

青梅市の文化遺産4 土器底部が伝える文化の一面

市文化財保護指導員 鈴木晴也

